

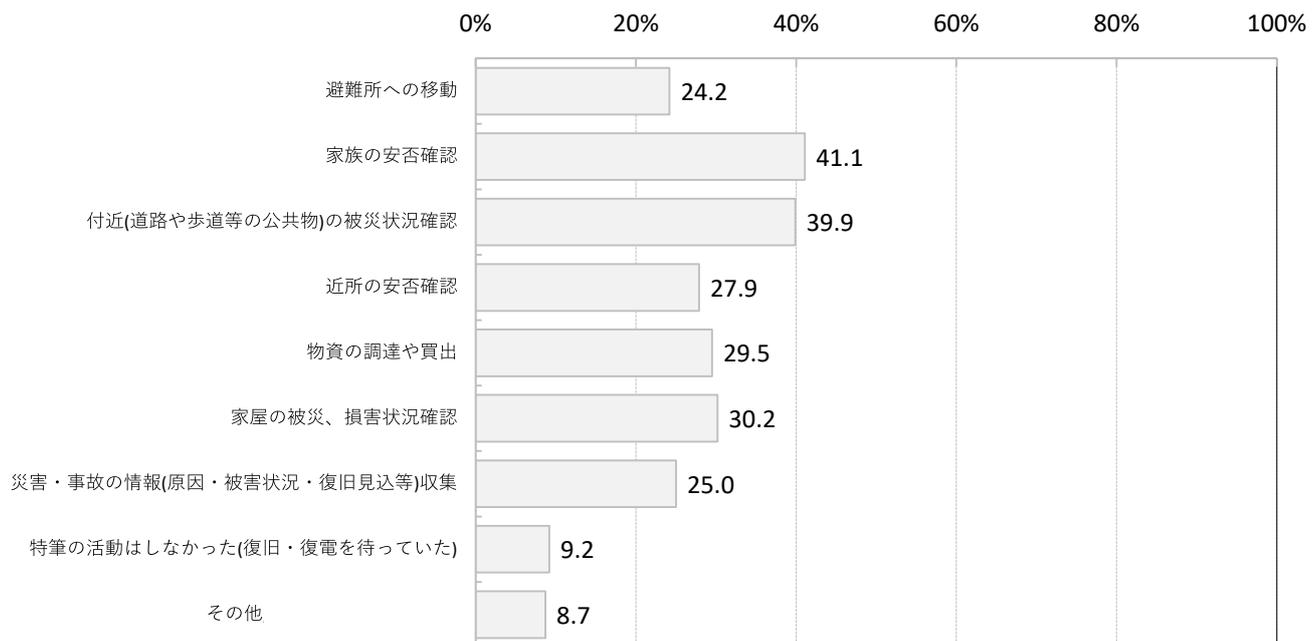
災害等による停電体験に基づく「あかり」に関するアンケート 屋外の場合

一般社団法人日本照明工業会は、2021年3月、災害時に停電を経験したことのある方約1000名を対象に、停電時の「あかり」についてのアンケートをインターネット調査で実施しました。

アンケートは、屋内(住宅)での体験をもつグループと、屋外での体験を持つグループに分けて実施しました。当集計は、屋外での体験を持つ方が対象のアンケートの結果です。

[Q1] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方 (n=1034)

屋外ではどのような行動を行いましたか。[複数選択可]



[Q2] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方 (記述回答：まとめ)

夜間の停電が発生し、活動するために屋外のあかりが無くて困った事

暗くて周りが見えない	子供が暗闇を怖がっていた	街の状況が把握できない
スマホライトのバッテリーがなくなった	信号が消え危険、運転にも支障をきたした	つまずいて怪我をした
避難所を探す際に困った	懐中電灯の電池がいつ切れるか不安だった	足場の悪い場所は危険である
治安の悪化、実際に盗難が多発した	景色が見えず、道路も暗く危険であった	近くに水路があり危険だった
携帯のライトでは明るさが不足	自転車にぶつかりそうになった	懐中電灯では見える範囲が狭く不安
川に転落しそうで怖かった	道に明かりがないと、車のライトは付いていても雰囲気が違うので怖かった	被災した沿岸部では夜間冠水部分とそうでない部分の見分けがつかず移動に難儀した
危険物が散乱している可能性があり、急ぐと危険だと感じた	緊急用の照明を玄関先に置いていたが見当たらず探すのが大変でした	火災発生し、後の被害の確認が明け方まで出来なかった
街灯が停電し手元に灯りもなく感覚で歩いていたら倒れた電線に引っかかった	近隣の安否確認に出かけたが、普段通行している場所も危険を感じた	月明りだけでは道路や被害状況が判らずゆっくり歩くしかできなかった
付近の状況を確認するため懐中電灯を探すまでは手探りで不安であった	懐中電灯は高所に明かりが届かず確認できないところが多かった	

[Q3] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方（記述回答：まとめ）

屋外の明かりがなかった際の対応としての行動

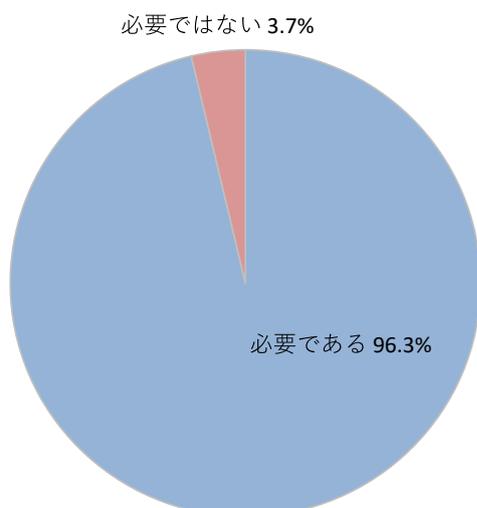
何もせずにいた、屋内に戻った	発電機を使用しあかりをとった	懐中電灯、スマートフォンライトを使った
登山用のヘッドライトを使った	自動車のヘッドライトをつかった	コンサートのペンライトを使った
長い棒で地面を探りながら行動した	パソコンの画面の明かりを使った	ロウソクや、使い捨てライターを使った
車で過ごした、車で移動した	月明りに対応した	スマホは極力使わず懐中電灯に対応した
キャンプ用ヘッドランプを使った	自転車のライトに対応した	最小限の行動;携帯ライトでは明るさ不足
バイクのライトに対応した	手動で充電する懐中電灯	キーライトの明かりで行動した
マッチを使った	消防車の投光器で対応	非常用の照明機器を使った
モバイルバッテリーとLEDライトを使った	車で過ごした	焚火を行った

[Q4] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方
(n=1034)

家の周りの道にある街路灯や防犯灯、公園の街路灯は停電になると点灯しません。

停電の際に、点灯できる照明は必要ですか。

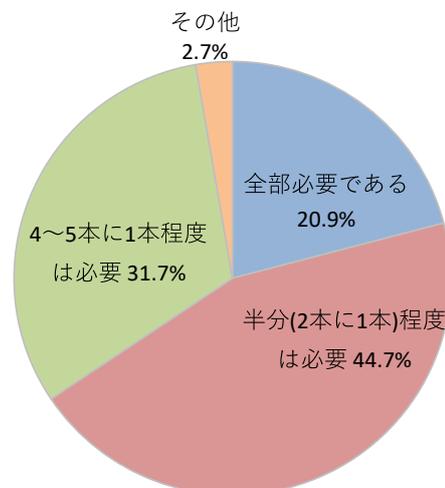
参考:夜の災害時に避難所に向かったり、治安維持の目的で停電時でも点灯する蓄電池内蔵式の照明があります。現在、開発されている製品で点灯出来るのは、1夜間分程度です。



[Q8] 対象：Q4の回答が「必要」だった方 (n=996)

現在設置されている街路灯や防犯灯のうち、どの程度この蓄電池内蔵式が必要ですか。

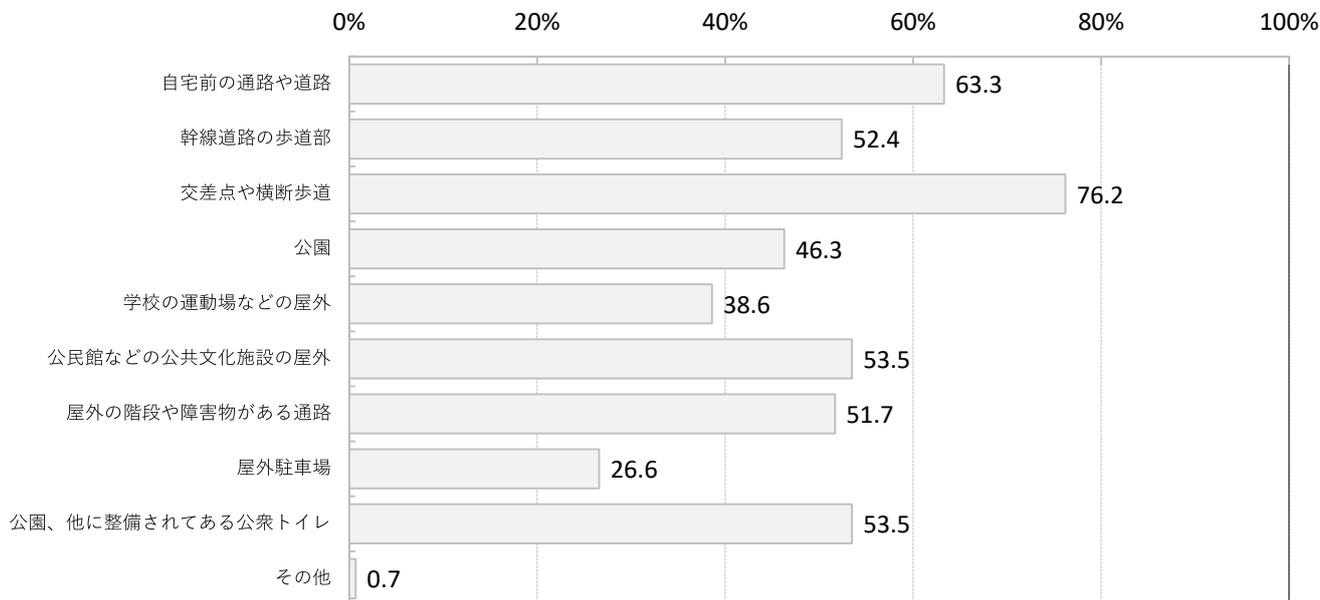
ここでは「欲しい」ではなくて、「最低限必要」な程度をお聞きします



[Q6-1] 対象：Q4の回答が「必要」だった方 (n=996)

停電の際を考えたとき、蓄電池内蔵式の照明はどの様な場所に必要ですか。

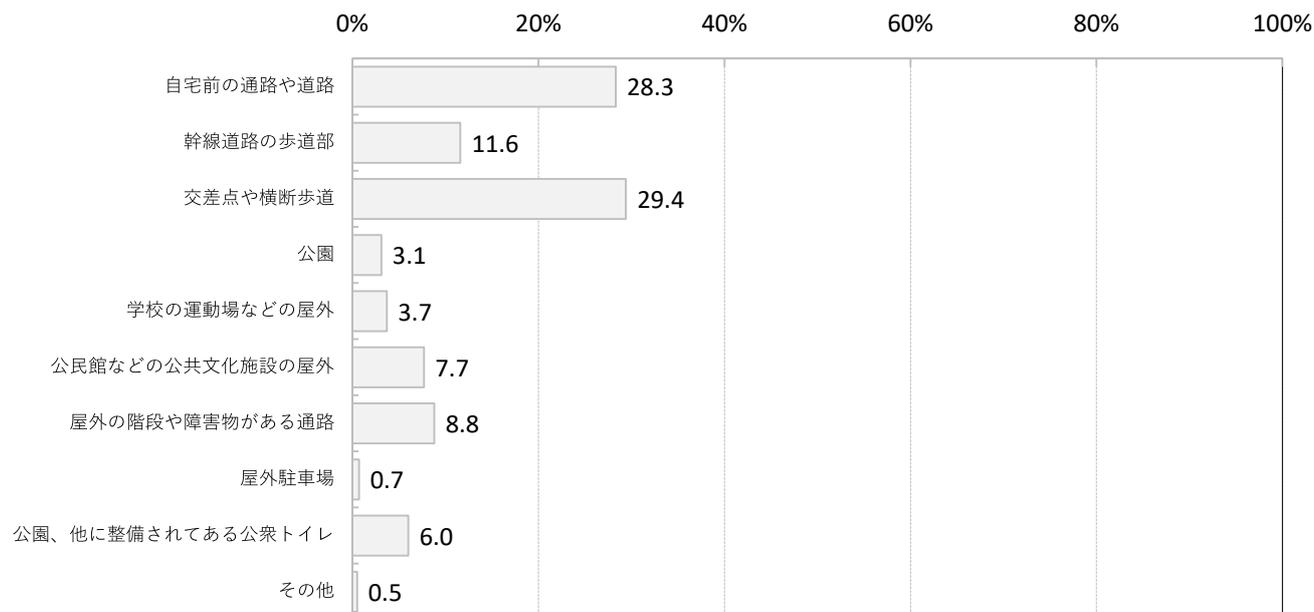
[必要だと思う箇所(複数回答:可)]



[Q6-2] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方 (n=1034)

停電の際を考えたとき、蓄電池内蔵式の照明はどの様な場所に必要ですか。

[必要だと思う箇所(複数回答:不可)]

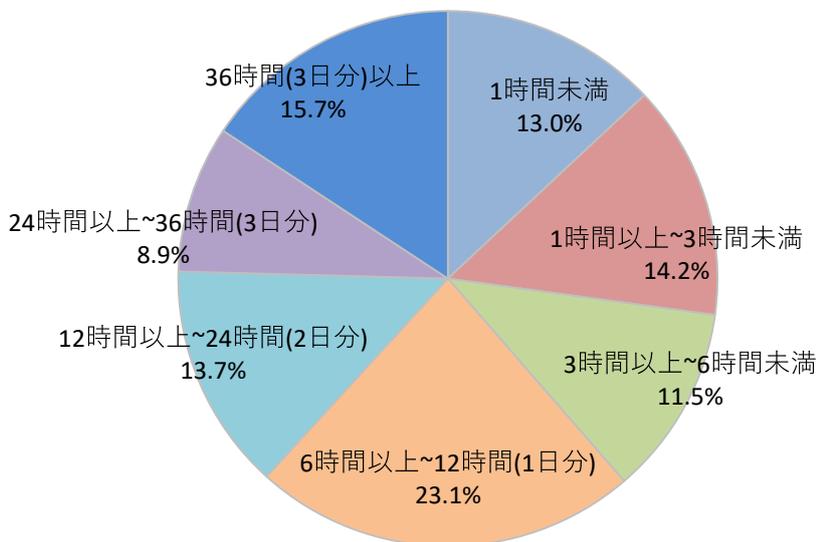


[Q7] 対象：Q4の回答が「必要」だった方 (n=996)

停電してからの点灯時間はどの程度必要でしょうか。

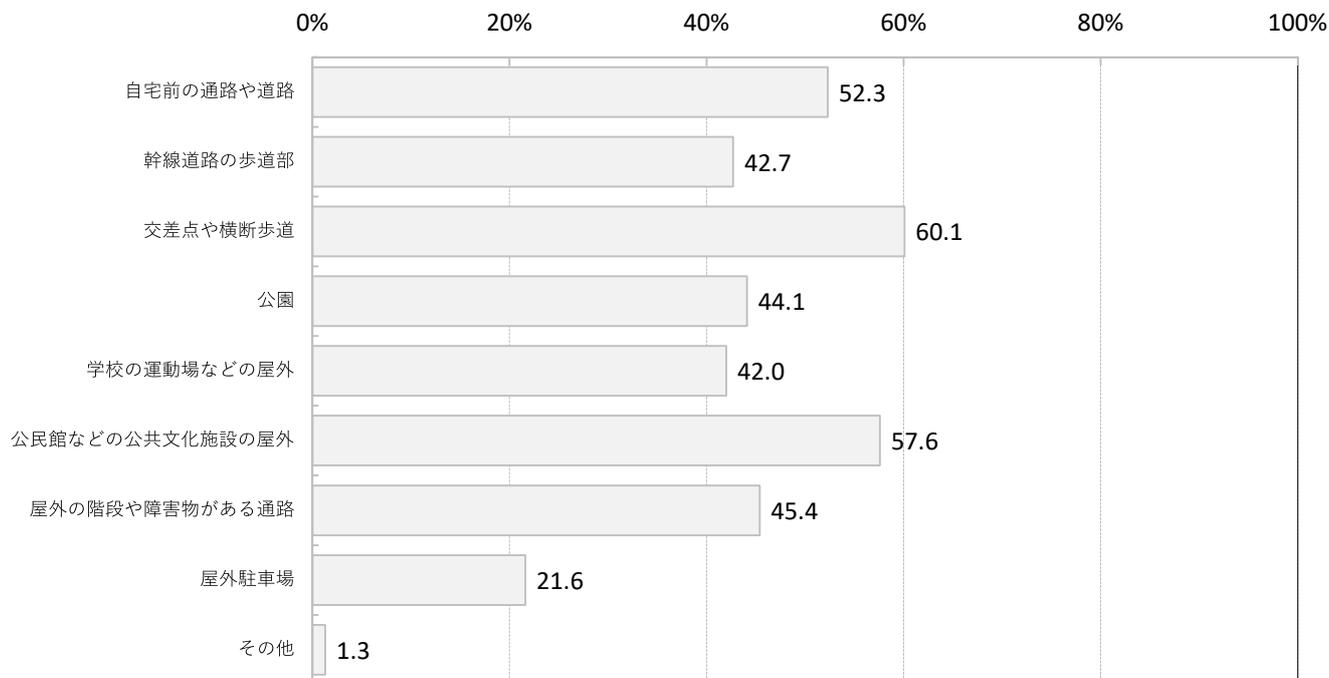
例-1:パニック時の対応と考え1日分あれば十分。 例-2:停電対応生活の整備や物資の買い揃え等に3日必要)

*ここでの1日分の必要時間は12時間と設定します。



[Q8-1] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方 (n=1034)

費用や設置の制約※を考慮した上で、ソーラーパネル充電式の街路灯をどんな場所に欲しいですか。 [欲しいと思う場所すべて(いくつでも)]



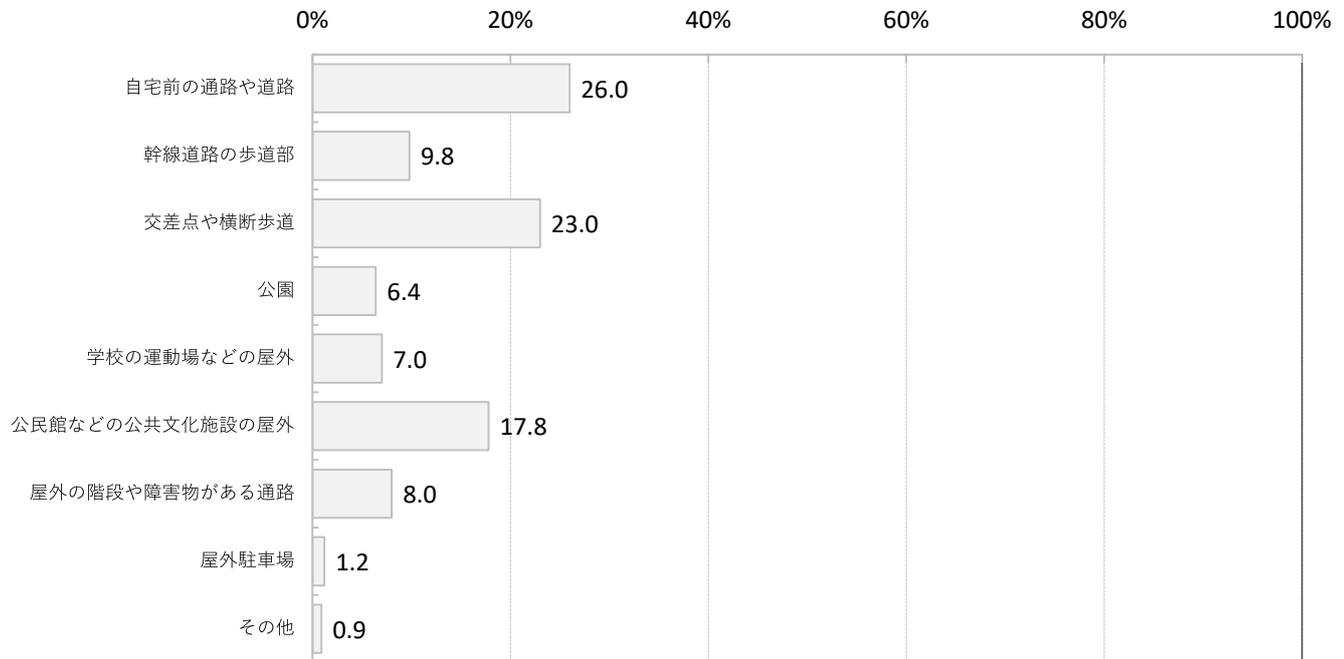
※条件として以下の内容を提示しました。

災害時の一時避難所として公園、公民館や学校が指定されています。

その場所が、停電時に真っ暗になるのを防ぐには蓄電池内蔵式の照明の他に、ソーラーパネル充電式の街路灯があります。昼間の太陽光で充電し毎夜の点灯が可能となります(日照程度や蓄電池容量により点灯時間の制約はあります)費用は、前問で紹介しました蓄電池内蔵式に比べ高額(20倍~30倍程度)でソーラーパネル面積が大きく、設置条件の制約があります。

[Q8-2] 対象：夜間の停電発生中に、屋外で活動した方 (n=1034)

**費用や設置の制約※を考慮した上で、ソーラーパネル充電式の街路灯をどんな場所に欲しいですか。
[最も欲しいと思う場所(ひとつ)]**



※条件として以下の内容を提示しました。

災害時の一時避難所として公園、公民館や学校が指定されています。

その場所が、停電時に真っ暗になるのを防ぐには蓄電池内蔵式の照明の他に、ソーラーパネル充電式の街路灯があります。昼間の太陽光で充電し毎夜の点灯が可能となります(日照程度や蓄電池容量により点灯時間の制約はあります)費用は、前問で紹介しました蓄電池内蔵式に比べ高額(20倍～30倍程度)でソーラーパネル面積が大きく、設置条件の制約があります。